

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 5 部門第 3 区分
【発行日】 令和 5 年 7 月 13 日 (2023.7.13)

【国際公開番号】 WO2022/172775
【出願番号】 特願 2022-580553 (P2022-580553)
【国際特許分類】

F 2 5 D 23/06(2006.01)
F 2 5 D 23/00(2006.01)
F 2 5 D 11/00(2006.01)
F 2 5 D 29/00(2006.01)
F 2 5 D 19/00(2006.01)

10

【F I】

F 2 5 D 23/06 R
F 2 5 D 23/00 3 0 7
F 2 5 D 11/00 1 0 1 G
F 2 5 D 29/00 Z
F 2 5 D 19/00 5 3 0 D

【手続補正書】

20

【提出日】 令和 5 年 5 月 26 日 (2023.5.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 収容室と第 2 収容室を有する本体と、
前記本体に対して開閉可能な蓋体と、
前記第 1 収容室及び前記第 2 収容室を冷却する冷却機構と、
前記冷却機構を制御する制御部と、
前記第 1 収容室及び前記第 2 収容室の設定温度をそれぞれ最高設定温度と最低設定温度
の間に個別にユーザが設定する設定部と、
を備える電気機器であって、

30

前記制御部は、前記設定部の操作に基づいて設定温度を設定するとともに、前記第 1 収容室の設定温度と前記第 2 収容室の設定温度の差である設定温度差が前記最高設定温度と前記最低設定温度との差より小さい所定値以内となるように制御するように構成され、ユーザによる前記設定部に対する前記第 1 収容室の設定温度を設定する操作であって、前記設定温度差が前記所定値を超えるような操作が行われた場合には、前記操作に応じた前記第 1 収容室の設定温度の変更を行わない、

40

ことを特徴とする電気機器。

【請求項 2】

第 1 収容室と第 2 収容室を有する本体と、
前記本体に対して開閉可能な蓋体と、
前記第 1 収容室及び前記第 2 収容室を冷却する冷却機構と、
前記冷却機構を制御する制御部と、
前記第 1 収容室及び前記第 2 収容室の設定温度をそれぞれ最高設定温度と最低設定温度
の間に個別にユーザが設定する設定部と、
を備える電気機器であって、

50

前記制御部は、前記設定部の操作に基づいて設定温度を設定するとともに、前記第1収容室の設定温度と前記第2収容室の設定温度の差である設定温度差が前記最高設定温度と前記最低設定温度との差より小さい所定値以内となるように制御するよう構成され、ユーザによる前記設定部に対する前記第1収容室の設定温度を設定する操作であって、前記設定温度差が前記所定値を超えるような操作が行われた場合には、前記操作に合わせて前記第1収容室の設定温度を設定するとともに、前記第2収容室の設定温度を自動的に変更する、

ことを特徴とする電気機器。

【請求項3】

請求項1又は2に記載の電気機器であって、

前記第1収容室及び前記第2収容室を加温する加温機構を有し、

前記制御部は、前記加温機構を制御する、

ことを特徴とする電気機器。

【請求項4】

請求項1又は2に記載の電気機器であって、

前記第1収容室と前記第2収容室は、前記本体に対して着脱可能な仕切り板により仕切られている、

ことを特徴とする電気機器。

【請求項5】

請求項1又は2に記載の電気機器であって、

前記制御部より制御されて、前記第1収容室及び前記第2収容室の設定温度を個別に表示する表示部を備え、

前記制御部は、前記設定部に対して前記設定温度差が前記所定値を超えるような操作が行われても、前記設定温度差が前記所定値を超えた設定温度の表示を行わない、

ことを特徴とする電気機器。

【請求項6】

請求項2に記載の電気機器であって、

前記制御部より制御されて、前記第1収容室及び前記第2収容室の設定温度を個別に表示する表示部を備え、

前記制御部は、ユーザによる前記設定部に対する前記第1収容室の設定温度を設定する操作であって、前記設定温度差が前記所定値を超えるような操作が行われた場合には、前記操作に合わせて前記第1収容室の設定温度表示を切り替えるとともに、前記第2収容室の設定温度表示を自動的に切り替える、

ことを特徴とする電気機器。

【請求項7】

請求項4に記載の電気機器であって、

前記設定部は、前記仕切り板がなく前記第1収容室及び前記第2収容室を1つの収容室として使用する際に、前記1つの収容室の設定温度を前記最高設定温度と前記最低設定温度の間でユーザが設定することができる、

ことを特徴とする電気機器。

【請求項8】

請求項7に記載の電気機器であって、

前記制御部より制御されて、前記第1収容室及び前記第2収容室の設定温度を個別に表示すると共に、前記1つの収容室の設定温度を表示することができる表示部を備える、

ことを特徴とする電気機器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

10

20

30

40

50

【 0 0 1 3 】

本発明のある態様は、電気機器である。この電気機器は、
第 1 収容室と第 2 収容室を有する本体と、
前記本体に対して開閉可能な蓋体と、
前記第 1 収容室及び前記第 2 収容室を冷却する冷却機構と、
前記冷却機構を制御する制御部と、
前記第 1 収容室及び前記第 2 収容室の設定温度をそれぞれ最高設定温度と最低設定温度
の間で個別にユーザが設定する設定部と、
を備える電気機器であって、
前記制御部は、前記設定部の操作に基づいて設定温度を設定するとともに、前記第 1 収
容室の設定温度と前記第 2 収容室の設定温度の差である設定温度差が前記最高設定温度と
前記最低設定温度との差より小さい所定値以内となるように制御するよう構成され、ユー
ザによる前記設定部に対する前記第 1 収容室の設定温度を設定する操作であって、前記設
定温度差が前記所定値を超えるような操作が行われた場合には、前記操作に応じた前記第
1 収容室の設定温度の変更を行わない、
ことを特徴とする。

本発明の別の態様は、電気機器である。この電気機器は、
第 1 収容室と第 2 収容室を有する本体と、
前記本体に対して開閉可能な蓋体と、
前記第 1 収容室及び前記第 2 収容室を冷却する冷却機構と、
前記冷却機構を制御する制御部と、
前記第 1 収容室及び前記第 2 収容室の設定温度をそれぞれ最高設定温度と最低設定温度
の間で個別にユーザが設定する設定部と、
を備える電気機器であって、
前記制御部は、前記設定部の操作に基づいて設定温度を設定するとともに、前記第 1 収
容室の設定温度と前記第 2 収容室の設定温度の差である設定温度差が前記最高設定温度と
前記最低設定温度との差より小さい所定値以内となるように制御するよう構成され、ユー
ザによる前記設定部に対する前記第 1 収容室の設定温度を設定する操作であって、前記設
定温度差が前記所定値を超えるような操作が行われた場合には、前記操作に合わせて前記
第 1 収容室の設定温度を設定するとともに、前記第 2 収容室の設定温度を自動的に変更す
る、
ことを特徴とする。

10

20

30

40

50